

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

基本理念

常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、優れた製品・サービスの提供を通じて、社会の発展に貢献

グローバル粗鋼生産能
8,600万トン

グローバル粗鋼体制目
1億トン

DX投資額
1,000億円以上

製鉄セグメント売上比
9割

2 中長期の経営戦略

1. 国内製鉄事業の再構築

戦略商品への投資、設備新鋭化、生産体制のスリム化により、コスト競争力と適正マージン確保を推進

3. カーボンニュートラルへの挑戦

高炉水素還元、水素還元鉄製造、大型電炉技術の3革新技術開発とN SCarbolex®による価値提供を推進

2. 海外事業の深化・拡充

インド・アジア中心にグローバル粗鋼1億トン体制を目指し、米国との合併によりインド・ASEAN・米国の3拠点を確保

4. デジタルトランスフォーメーション

5年間で1,000億円以上投資し、IoT・AI活用による操業・設備保全の効率化と全社生産計画の一元化を推進

3 対処すべき課題

① 国内需要の減少対応

- 人口減少・高齢化による国内鉄鋼需要の継続的減少に対応
- 需要家の海外現地生産拡大への対策

② グローバル競争の激化

- 中国の需要頭打ちによる海外市場競争の一層激化
- 市場の分断化と地産地消・自国産化の傾向への対応

③ カーボンニュートラル実現

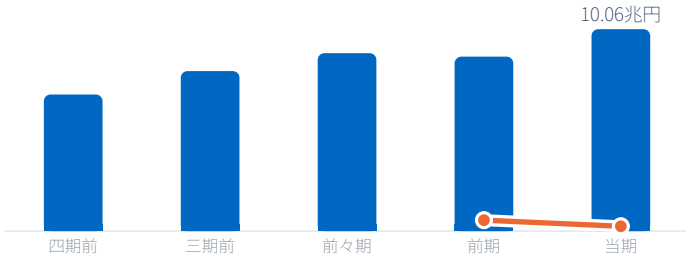
- 欧米・中国・韓国との脱炭素開発競争への対応
- Super COURSE50開発などCO2削減43%実現の加速化

面接で使えるポイント

- グローバル粗鋼1億トン体制目指し、インド・ASEAN・米国の3拠点確保で成長戦略を実行する企業
- Super COURSE50開発でCO2排出量43%削減を実現し、カーボンニュートラルスチール製造技術で業界をリード
- デジタルトランスフォーメーションに5年で1,000億円以上投資し、IoT・AI活用で製鉄業のデジタル先進企業を目指す

証券コード 5401

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
10.06兆円営業利益率
2.4%財務健康度
46点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 63.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
909万円
鉄鋼内 3位/38社平均年齢
41.3歳
鉄鋼内 21位/38社平均勤続
19.5年
鉄鋼内 8位/38社女性管理職
1.8%
鉄鋼内 23位/32社男性育休
88.0%
鉄鋼内 9位/32社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 日本製鉄グループ タイNSPTが2026年度労働災害ゼロ化達

